

ニューズレター 2023年度 第2号

日本音楽表現学会 2023 年 11 月 30 日発行

目 次

【巻頭言】共に歩むことの大切さ ―親鸞に学ぶ「愚者になりて往生す」―	吉田 秀文	2
【随想】自ら場を創る ―古家を購入して、サロン・コンサート用の会場を作りました―		
	小川 有紀	3
音楽表現と生成 AI	稲木 真司	4
澤田柳吉の人物伝を上梓して	多田 純一	5
第 22 回（バッカスの ^{うたげ} 宴）大会発表募集		5
新入会員紹介		6
日本音楽表現学会創立 20 周年記念事業のお知らせ		7
後援コンサート等情報		8
会員による新刊・CD リリース案内		9
会員による研究会案内		9
事務局からの重要なお知らせとお願い		10
第 22 回（バッカスの ^{うたげ} 宴）大会のご案内		12
2023 年度役員・委員等一覧		12
編集後記		12

日本音楽表現学会

所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

http://www.music-expression.sakura.ne.jp/

年会費：5,000 円

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370 = 6 = 78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 ^{いちさんきゅう} 一三九 (139) 店 (当座) 0078225 日本音楽表現学会



共に歩むことの大切さ

—親鸞に学ぶ「愚者になりて往生す」—

吉田 秀文（音楽教育・声楽）

少し前まで、この暑さのまま冬になってしまうのかと危惧していたが、やはり秋らしい日々も僅かで今や前橋から見える遠くの山々は雪化粧を始めた。三重大学の立花教授が予想する1年（三重大学 気象／気候ダイナミクス研究室のX）のように、本当に四季から二期になってしまうのだろうか。ジャンルを問わず芸術作品には四季をテーマにしたものが多い。ちょうど先日、ヨーゼフ・ハイドンのオラトリオ「四季」を全曲演奏する機会を得た。スヴィーテン男爵による台本を基に、農民たちの生活ぶりが見事に表現されていた。四季の様々な場面で織り成す様相、自然に対する畏敬の念や恵への感謝、自然とともに暮らす人々の知恵などが、ハイドンの作曲技法により展開されていた。中でも「夏」は、輝かしい太陽光に対する賛美や凄まじい嵐が描かれている。思えば、今年の「平安大会」も夏の暑さにもかかわらず、多くの参加者とともに尊い時間を共有できた。研究成果発表をはじめ、オープニング演奏、基調講演、レクチャー、文楽の特別公演、サロン等、新たな知見や音楽表現の奥深さ、多様性を実感することが出来た。会場を提供してくださった京都女子大学関係の皆様方に、改めて感謝申し上げたい。

さて、ご存じの通り、京都女子大学は親鸞聖人の教えを教育理念に据えている（京都女子学園HP、理事長メッセージ参照）。また、今年は親鸞聖人生誕850年の正に記念すべき年であり、3月から5月まで京都国立博物館で特別展も開催された。こうした中、高田短期大学長の清水谷正尊氏の記事（東京新聞2023年6月4日11版）に目が留まった。氏は「愚かさを知り 相互尊重の世に」を願い、親鸞聖人の教えを紹介している。その中で私は、「されば、それほどの業をもちける身にありけるを、たすけんとおぼしめしたちける本願のかたじけなさよ」、自らの正しさを振りかざし、相手のことを顧みず批判してしまうような情けない自分でも、阿弥陀仏は救ってくださる、との一文に打ちのめされた。世のため、人のためと思いながら、つい世情に流されている己の弱さを感じた。浄土門以外の仏教は煩悩を断ち切ろうとする道であり、例

えば多様性を認めていこうと努力する道であるとしている。しかし、氏は「その道は私には歩めません。多様性を認めようという正義を手にした瞬間、多様性を認めない人を批判してしまう私だからです」と述べる。そして、そんな煩悩から離れられない自分の愚かさを恥ずかしく思う道、これが浄土門の道と説いている。最期は、愚かさをどんどん自覚し、「愚者になりて往生す」とのことが本望のようである。私たちは、いつも謙虚さや寛容さを忘れずに、と意識しながらも、いざ全うするのはやはり難しいのだろうか。

一方、10月4日バチカンで世界中の司祭らが集まり、会合（シノドス）が開催された。「シノドス」とはギリシャ語で「ともに歩む」「ともに生きる」の意味であり、参加者は様々なテーマでいくつも並べられた円卓を囲んだ。そこで大切にされたことは、相手の話に耳を傾けること、すなわち「傾聴」であった（ヴァチカンニュースHP）。相互に「傾聴」することは、認め合うことであり、多様な活力に火を灯すことであるとされる。「傾聴」を通して、二項対立や分断が収まる事を期待したい。

少々固い話しではあったが、こうした信念や考えもどこかで思い起こしながら、日々歩みたいと思う。音楽パフォーマンスは自己表現であり、自己満足はあっても独善的であってはならないだろう。「平安大会」での成果と課題を整理し、来年の「バッカスの宴大会」に繋げたいと思う。そこでは甲州産ワインの力も借りて大いに盛り上げたい。先のハイドン「四季」第3部「秋」のフィナーレでは、収穫した葡萄から新酒のワインが振舞われ、老若男女が歌ったり踊ったりする場面がある。特に最後の合唱は「酔っぱらいのフーガ」とも呼ばれるらしく、アウフタクトでテーマが展開され、タンブリンやトライアングルも加わり、酩酊ぶりが表現される。ポリフェノールは健康促進をもたらし、明日への鋭気を養う。ワインと音楽を讃え、「音楽と人間と社会」のより密接な結びつきを願い、共に歩みたいと思う。

会員の皆様のご健康とご発展を心からお祈りしたい。

自ら場を創る

—古家を購入して、サロン・コンサート用の会場を作りました—

小川 有紀（オルガン・音楽学）

私は小さな古家を購入し、改築して、サロン・コンサート用の会場を作った。場所は静岡県伊東市の伊豆高原。大室山と大島を臨む海を中心に、自然、グルメ、温泉の三拍子整った観光地で、県内有数の別荘地が広がる。会場の規模は都会のサロンよりも少し席間に余裕をもたせて客席数 25 人程度である。2023 年秋は 2 回のコンサートを企画した。

会場設置を思い立ったきっかけは、コロナ禍での“本番”の激減である。仕事依頼がなくなっただけでなく、感染を恐れてフライヤーを配ることさえ警戒された。「音楽はこの世になくてはならない大事なものの、皆が喜ぶ。そのために、あなたは弾くのですよ」、幼い頃からそう教えられてきた。だから度重なる災害時に、私はボランティア演奏を厭わなかった。ところがいざ自分の収入が不足した時、一介の音楽家を振り返る人はあまりなかった。ドイツのメルケル首相は、「音楽家は国の宝です。支えなければ」と発言し、その TV 報道を私はただぼうっと見ていた。自我が崩れていく気さえた。

そんな折、仕事先の一つが、「お大変でしょう」とキャンセル分に関し半額の報酬支払いを申し出てくれた。労いの言葉をかけられて、ハッとした。誰もが大変なのだ。なじみの飲食店の一つは、「歳だし、この機会に」とあっさり閉店した。しかし私は？ 何度考えても、今まで積み重ねてきたものを簡単に店じまいさせることなどできない。ではどうすれば？

一人考え思い当たったのは、自分の活動はオーガナイザー任せであったということだった。それが今、身動きがとれないでいる根本の原因だと思った。その時ふいに頭に浮かんだのが、TV でみた「古家改造」の番組だった。若い女性が古家を買ひ、自分好みに内装を作り替えていた。あの方法なら懷事情が頼りなくても、何かしらの音楽処を作れると思った。それに、いつも私は感じていたではないか。日本の音楽界の残念な点は、巨大ホールばかり作りすぎたことだと。集客に振り回されて、思い切ったプログラミングができない。音の充足感に乏しいし、ステージと客席の距離が

開き過ぎていて演奏家と聴き手の心のコンタクトも成り立ちにくい。コンサート事業が都市部ばかりに集中しているのも、大きな問題である。

そうだ。自然を豊かに感じる場所で、小じんまりとしたコンサート会場を自分で作ろう。預金通帳とにらめっこし、「無理するな」と諫める家人の声を背に、ガラガラの東海道線に飛び乗った。向かった先は、真鶴半島である。景観の良さで有名な土地だが、何より決心を固めるために、私は海が見たかった。「大丈夫、ここでお金を使うことは無駄にならない。将来的にはその家に住んだっていいし」と自分に言い聞かせながら、あらかじめ調べておいた不動産屋さんのドアを開けた。

良い不動産屋さんとは、優秀なカウンセラーなのだと思う。じっくり話を聞いてくれ、しかし最後「うーん、でもこの辺では…。ごめんなさい！」と、店主は私に向かって 90 度頭を下げた。資金が少なすぎたのだ。それなら、とさらに東海道を西へ下り、熱海。ここは売り建物の供給量が多い地域である。不動産屋さんもこなれて、感じが良い。しかし、“これはちょっと、道路から敷地へ上る階段が”と紹介された家は、階段の横に綱が張ってあり、ピッケルの様な棒も置かれていた。上に立つと極端な斜度で階段が見えない。“家に入る前の坂道がキツイかも”の物件は、もはや坂道でなく断崖で、私は玄関に到達することすらできなかった。その日は、半ベソで帰った。自宅最寄り駅に家人が迎えに来ていて、「ね、なかなか難しいでしょ」と言った。リモートワークで都市脱出組が多くなり、田舎の家が飛ぶように売れ始めたのは、その数カ月後のことである。

多賀、伊東、と物件探索はどんどん南に下り、伊豆高原でついに私は目的のものを手に入れた。小さな古家は築 40 年だがしっかりした造り、しかも売り急ぎで割安という物件を運よく一番で紹介してもらえたのである。自慢のチェンバロと、今回偶然にも知人から譲り受けることになったヴィンテージのスタインウェイ・コンソールピアノを置くことにした。

2023 年秋の演奏会は、小川のチェンバロ・ソロを

一回と、チェロのリサイタルを一回。このリサイタルを担うチェリスト氏は日本を代表するオケのトップを歴任してきた実力派だが、「ぜひ。夢に付き合わせて」と二つ返事で出演を快諾してくれた。近隣のお店などが相談にのってくれ知り合いが増える中、「ヴァイオリンの経験がある」といった愛好家情報も伝わってきた。ほどなくして2公演とも満席、売り切れとなる。今の野望は、これまで「音楽を聴くために横浜か東京に出る」が通例であったこの地域一帯の人の流れにおいて、

「音楽を聴きたいから伊豆高原に行く」との逆ベクトルを生み出すことである。

こんなちっぽけな試みが何になるのだろうと、一方では考える。されど、想いがアメンボの水紋のように広がって、文化の静かな掘り起こしに繋がる可能性はある。私はそこに賭けてみたい。懸命に考え、生きる。その延長でのコンサート会場設置である。よかったら伊豆高原にいらして下さい。楽の音に誘われて、小鳥が囀ります。



【??】

音楽表現と生成 AI

稲木 真司（名古屋女子大学准教授）

1950 年代に基本的な概念が提唱されて始まった AI 技術ですが、現在進行の AI の波は 1993 年から始まった第 3 次 AI ブームと呼ばれています。これまでの AI は情報をまとめて知識化し、ユーザーが求める適切な答えを予想するというようなもので、出力する情報は基本的に「既存のコンテンツ」でした。しかし今話題になっている生成 AI はまとめて知識化した情報を「ディープラーニング」のプロセスを通して自ら学習し、新たな答えを創造することによって、オリジナルコンテンツを出力することができるようになっています。

SNS でも度々話題になっていますが、画像・動画生成 AI や音楽生成 AI など、各分野に特化した生成 AI も次々と生み出されています。それに伴い、著作権などの法的な問題や倫理的・道徳的な問題も表面化しています。生成 AI は大変便利なツールとなるため、音楽分野においても様々な業務やプロセスをより短時間で効率的に行うのに役立ちます。私達は音楽に関わる専門家として、その利便性や危険性を理解したうえで、これから生成 AI とどのように付き合っていくのか模索していく必要があるのではないのでしょうか。

澤田柳吉の人物伝を上梓して

多田 純一（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 客員研究員）

私が澤田柳吉という人物に興味を持ったのは、極めて単純な動機であった。博士論文のテーマが日本におけるショパン受容であったことから、最初に「ショパン弾き」と呼ばれた澤田の音楽活動が研究の対象となるのは自然な成り行きであったのである。

幸いにも「澤田柳吉の音楽活動に関する研究」（24820066）の研究課題で科研費を取得し、ご遺族が研究に惜しみなく資料をご提供くださったことで研

究はスムーズに進んでいたのだが、調べれば調べるほど、新たな資料が発見される状況が続いた。彼の音楽活動が多岐にわたっていることで、洋楽受容史

に関わる図書館や機関に所蔵されていない資料（例えば SP レコードやピアノ・ロールなど）も調査しなければ、彼の音楽人生をまとめることが不可能であることに気付かされたのだった。

結果として出版までに 10 年の期間を要したが、なんとか完走することができたのは、多くの研究者との出会いに支えられて思わぬ資料の発見につながったからである。出版までの最後の 2 年間は、手が震えるような資料との出会いの連続であった。研究を継続するエネルギーの源となったのは、この仕事を託してくださったご遺族への責任とご協力くださった方々への感謝の気持ちであったように思う。

第 22 回（^{うたげ}バカスの宴）大会発表募集

第 22 回大会は、2024 年 6 月 22 日（土）・23 日（日）に山梨大学において対面にて開催の予定です。多数のお申し込みをお待ちしています。

～～～～～ 記 ～～～～～

発表概要：発表形態ア、イ、ウとも研究発表 30 分と質疑 10 分、計 40 分

発表申込：下記様式にしたがって、発表タイトルと発表形態および 200 ～ 400 字の発表要旨等をご記入の上、メールでお申し込みください。複数会員による発表の場合には必ず筆頭発表者が申し込んでください。なお、筆頭発表は学会からの委嘱を除き、一人 1 件です。

発表申込資格：申込み時点で 2023 年度までの会費を完納している会員

締 切：2024 年 2 月 15 日（木）

申 込 先：学会事務局

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

【申込書書式】

日本音楽表現学会第 22 回大会に発表を申し込みます。

☐ 2023 年度までの年会費は納入済みです。
（冒頭の□に納入済の「✓」を記入してください。）

1. 氏 名 _____

2. 連絡先〒 _____

電話 _____

3. E-mail _____

4. 発表題目 _____

5. 発表要旨 (200 ～ 400 字)

6. 発表形態：（該当する記号を記載）

ア) 研究発表（共同発表も含む）

イ) ワークショップ

ウ) デモンストレーション

7. 分科会会場設置使用機器（使用する機器の記号を記載）

a) ピアノ b) プロジェクタとスクリーン

* CD や DVD 等デジタル音源は予めご自身のコンピュータから出力できるよう準備してください。会場の CD プレーヤーや DVD プレーヤー等の音響機器は使用できません。また、大学の wifi に繋ぐことはセキュリティの観点からお断りします。

新 入 会 員 紹 介

2023 年 7 月 1 日～ 10 月 31 日の間に、
の 7 名の方々が入会されました。新入会の方の自己紹介を掲載します。
なお、紙数の関係で、丁寧語・謙譲語・尊敬語などの敬語や文末の「よろしくお願いします」などのご挨拶は省
いています。(五十音順)

プライバシーに付き削除しています。

日本音楽表現学会創立 20 周年記念事業のお知らせ

2023 年度総会にて創立 20 周年を記念した 3 件の新規事業立ち上げについて承認いただいたことを受け、各事業の実現に向けて動き出しています。

1. 『音楽表現学』英文要旨集の公開について

本学会の活動を世界に向けて発信するために、『音楽表現学』掲載の論文・報告の英文要旨を HP 上に公開することとなりました。手始めに、今年度発刊の『音楽表現学』Vol.21 から公開することとし、現在準備を進めているところです。しばらくお待ちください。

2. コンサート助成事業について

「助成コンサート委員会規定（案）」及び「助成コンサートに関する方針（案）」が総会にて承認され、HP 上でお知らせのとおり、第 1 回助成コンサートの公募を開始しています。

* 応募期間：2023 年 9 月 15 日（金）～12 月 15 日（金）

承認いただいた「方針」にもとづいて「助成コンサート選考規定」を作成しましたので、以下にお知らせします。

助成コンサート選考規定

この規定は、日本音楽表現学会助成コンサート委員会規定第 3 条及び第 10 条に基づくコンサート企画の選考について実施上必要な事項を定める。

1. 選考委員の決定

1-1. 【選考委員の決定】選考委員については、助成コンサート委員会が原則助成コンサート委員の中から応募企画ごとに適任者を決定する。なお、筆頭選考委員兼応募企画担当 1 名、専門委員 2 名の計 3 名を選出する。筆頭選考委員は助成コンサート委員とし、他の専門委員 2 名については、応募企画の専門性を鑑み助成コンサート委員以外から選出し依頼することができる。なお、候補者はできる限り当学会員から選出することとする。専門委員は応募締切後最初の助成コンサート委員会において決定する。

1-2. 【選考委員の匿名性】応募企画ごとの選考委員の氏名は助成コンサート委員会外では匿名とする。

2. 選考の実施

2-1. 【応募企画の選考】申請された企画の選考委員は

以下の 3 段階で評価を行う。

A= 採択

B= 若干の修正を条件に採択（修正採択）

C= 不採択

2-2. 【選考結果の提出】選考委員は選考結果と応募企画の優れている点および改善を要する点を所定の様式にまとめ、助成コンサート委員会に提出する。

2-3. 【採否判定】筆頭選考委員は、他の専門委員と協議の上、選考結果を総合し、各応募企画について「採択」「修正採択」「不採択」の 3 段階による採否判定の原案を作成する。助成コンサート委員会は原案を受けて採否を協議し、決定する。

3. 採否判定の通知

助成コンサート委員会委員長は、採否判定を応募者に通知する。その際、選考委員からの選考結果とコメントを合わせて応募者に知らせるものとする。

4. 修正採択

「修正採択」の判定を受け取った応募者は、選考コメントにそって企画の修正を行った上で再提出する。再提出された申請書は、助成コンサート委員会によって適切な修正が行われていると認められる場合には、「採択」とする。

5. 選考規定の変更

この規定の変更は助成コンサート委員会からの協議を受けて理事会で検討、総会で協議の上決定するものとする。

附則 本規定は 2023 年 6 月 17 日から実施する。

3. 会員情報管理システムの構築について

検討 WG において、会員情報管理システム（HP 上の会員専用頁）の構築に向けて検討を開始しています。会員専用頁の構築については、HP からのリンクを貼ることを念頭に経費のことも含め少し時間をかけて検討しなければなりません。その前に HP（ホームページ）自体のリニューアルを行い、新年度（2024 年 4 月）にスタートできることを目指しています。

後援コンサート情報

田原 さえさん

We Love Bach III

～こんなに楽しいインヴェンションへの道のり～

日 時：2023 年 8 月 23 日（水）

会 場：日立システムズホール仙台・交流ホール

内 容：22 日はバロックダンスのステップを学び、その動きを《インヴェンション》解釈に生かせるよう探るワークショップ。23 日は《インヴェンション》がキーワードのコンサート。

牛渡 克之さん

ユーフォニアムコンサート「みちのくおいほの会」Part.1

日 時：2023 年 10 月 7 日（土）14:00 開演

会 場：宮城野区文化センター・パトナシアターホール

主な曲目：宮城県出身あるいは関係の深いユーフォニアム奏者による独奏、アンサンブルコンサート

出演者：牛渡克之、鈴木理愛、甲田絢香、庄司燦

水野 亜歴さん、米山 茉莉子さん、造座 千晴さん
魅惑のスペインコンサート

日 時：2023 年 12 月 9 日（土）14:00 開演（13:30 開場）

会 場：アートホール ティンブレ（奈良市富雄元町 3-1-34-3）

料 金：一般 3,000 円 学生 1,500 円（全席自由）

出演者：米山茉莉子（ソプラノ）、水野亜歴（テノール）、造座千晴（ピアノ）

主な曲目：マヌエル・デ・ファリャ：〈ムーア人の織物〉〈ホタ〉エンリケ・グラナドス：〈マハの眼差し〉〈トララとギターの爪弾き〉〈嘆き、またはマハと夜鳴き鶯〉ルペルト・チャピ：サルスエラ『人騒がせな女』より〈フェリーペとマリ＝ペパの二重唱〉他

山本 奈央さん

スクリャービン コンサートシリーズ Vol.1

日 時：2024 年 2 月 24 日（土）18:00 開演（17:30 開場）

会 場：ベヒシュタイン・セントラム東京 ザール

料 金：入場無料（事前予約制）

出演者：山本奈央、池田慈

主な曲目：《交響曲第 2 番 ハ短調 作品 29》《交響曲第 3 番 ハ短調 作品 43 「神聖な詩」》ピアノ連弾版

問合せ先：ベヒシュタイン・セントラム東京 03-6811-2925（ショールーム）、03-6811-2935（ホール・スタジオ）

予約 URL：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScOsTVazS-ujmXwSgzUDtWDCpkyTpZdg4BfMYGUn7BJcY4qiQ/formResponse>

伊藤 亜希子さん

道南ゆかりの藝大同窓生コンサート

日 時：2024 年 3 月 16 日（土）13:30 開演

会 場：函館市芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

料 金：一般 2000 円 学生 1000 円

出演者：伊藤亜希子（ピアノ）他、道南近郊出身の東京芸術大学在学学生・同窓生

内 容：ピアノ、ユーフォニアム、ソプラノ、テノールによる独奏とアンサンブル

深井 尚子さん、二宮 英美歌さん

深井尚子・二宮英美歌 ピアノデュオリサイタル
Vol.6 2024

日 時：2024 年 3 月 23 日（土）14:30 開演（14:00 開場）

会 場：ベヒシュタイン・セントラム東京

出演者：深井尚子、二宮英美歌

主な曲目：ベートーヴェン《交響曲第 3 番「英雄」》（ピアノ連弾版）、フォーレ《ドリー組曲》他

問合せ先：ブルンネン・ミュージック東京 090-4628-4054



会員による新刊・CD リリース案内

多田 純一さん

『澤田柳吉 日本初のショパン弾き』

【出版社】春秋社

【判型・頁数】A5 判、416 頁

【発行年月日】2023 年 8 月 10 日

【定価】4,950 円（税込）

【ISBN】9784393936085

【内容案内ページ】<https://www.shunjusha.co.jp/book/9784393936085.html>

多田 純一さん（監修，12 頁解説執筆）

CD『澤田柳吉の芸術 ピアノロール & SP レコード 日本録音集』（2 枚組）日本製ピアノロール（打ち込みによる自動演奏）の新録音、澤田柳吉が録音した SP レコード（新たに発見された未発売テストプレス盤を含む）

【出版社】サクラフォン

【発行年月日】2023 年 9 月 13 日

【定価】4,750 円（税込）

【品番】SKRP78012/13

ウェブショップ URL：<https://sakuraphon.net/items/64f86d99fc566002c44278e7>

後藤 丹さん

『ラヴェル《マ・メール・ロワ》ピアノ・ソロ版』（編曲と解説）

【出版社】全音楽譜出版社

【判型・頁数】菊倍判 27 頁

【発行年月日】2023 年 10 月 15 日

【ISBN】978-4-11-160235-3

【定価】1,300 円（税込）

会員による研究会案内

深井 尚子さん

ベートーヴェン学術実践 研究会 (BAPS) 第 3 回例会

日 時：2024 年 2 月 11 日（日・祝）14：30～17：00（予定）

会 場：東京梅島 スタジオフェルゼン（スカイツリーライン梅島下車徒歩 10 分）

対面と zoom のハイブリッド形式

* 研究発表・研究演奏募集中 〆切：2024 年 1 月 31 日（水）23：59

対面での演奏、ハイブリッドでの研究発表を募集しています。研究発表は、30 分（質疑応答 10 分）、演奏の場合は、最大 15 分程度の楽曲の演奏と 5 分程度の曲への想いをお話してください（作曲家の制限はありません）。演奏では、暗譜は義務ではありません。連弾や楽器（声楽含む）＋伴奏などの室内楽系も可能です。発表をご希望の方は、<https://b-aps.com> からアクセスし、会員登録（無料）をしていただいたうえで、お問い合わせフォームからお申し込みください。会員登録後は会員専用ページで第 2 回例会の動画が閲覧できますので、参考にしてください。

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

- (1) **納入期限**：その年度の4月1日から大会開催1週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

- (2) **振込方法**：

年会費納入方法の合理化のために、「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しました。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。

年会費納入方法：A) 郵便局からの振込(払込取扱票を利用)

(記号—番号) 01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会

B) 他行等からの振込(店名-口座番号)

店名 一三九(139)店 預金種目：当座 口座番号：0078225

- (3) **領収書・請求書の発行**：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

- (4) **年会費減免措置について**：自然災害等の被災による減免措置の制度

学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから書式「年会費減免願」書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

2. 住所等、会員情報の変更 HP をご覧の上、事務局までメールでご連絡ください

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせ再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

変更のお届けを事務局で受け取りましたら、「受け取りました」の返信をお送りします。返信が届かない場合は、お手数ですが、確認のため再送くださるようお願いします。

3. 学会員の研究サポート制度

- (1) **機関誌『音楽表現学』への投稿**

原稿の投稿には、前年度末までに会員資格を取得し、当該機関紙発行年度の年会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は毎月5月15日24:00です。

- (2) **大会での発表**

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守です。

大会発表応募〆切は毎月2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。
研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり 1 頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

学会 HP より「コンサート等後援／協賛申請フォーム」をダウンロードして、必要事項を記載し、メール添付ファイルにて学会事務局に申請してください（各項目は 1 行 39 字以内を原則とします）。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。HP 及びニュースレターにも案内を掲載します。出演者氏名の掲載は会員のみとなります。事務局からの返信が 1 週間以内に届かない場合は、事務局にご連絡ください。

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニュースレターと HP に掲載します。

・新刊案内の項目は著者名（会員）、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格（税抜価格）、購入方法など

・CD、DVD の項目は制作・編集者名（会員）、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格（本体価格）、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。

代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

Vol.	会員価格（1 部）	一般価格（1 部）
1～3	2,500 円＋送料	3,000 円＋送料
4～14	3,000 円＋送料	3,500 円＋送料
15 以降	2,500 円＋送料	3,000 円＋送料

(2) 『音楽表現学のフィールド 2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。

会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

会員価格：3,000 円（正価×0.9－α、税込・送料込み）

一般価格：3,456 円（税抜 3,200 円）

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド 2』の購入を申し込みます。

氏 名：_____

部 数：_____

送 付 先：_____

連絡用 E-mail：_____

6. 入会手続きについて

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには 2～3 週間かかります。

①入会申込書は HP からダウンロードし、メールで事務局にお届け下さい。

②事務局から必要な手続きについて連絡が届きます。その連絡に沿って手続きをお進めください。

③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。

・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。

・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

7. 退会手続きについて

退会には以下の 3 点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第 8 条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

①「退会届」を HP からダウンロードして必要項目をご記入の上、メールで事務局にご提出下さい。

②大会の必要条件「その年度までの年会費を完納」を満たしているかどうか、ご確認ください。

③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。

学会事務局 E-mail：music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

http://www.music-expression.sakura.ne.jp/

第 22 回 (バックスの宴) ^{うたげ} 大会のご案内

会 場：山梨大学甲府西キャンパス
(甲府市武田 4 丁目 4-37)

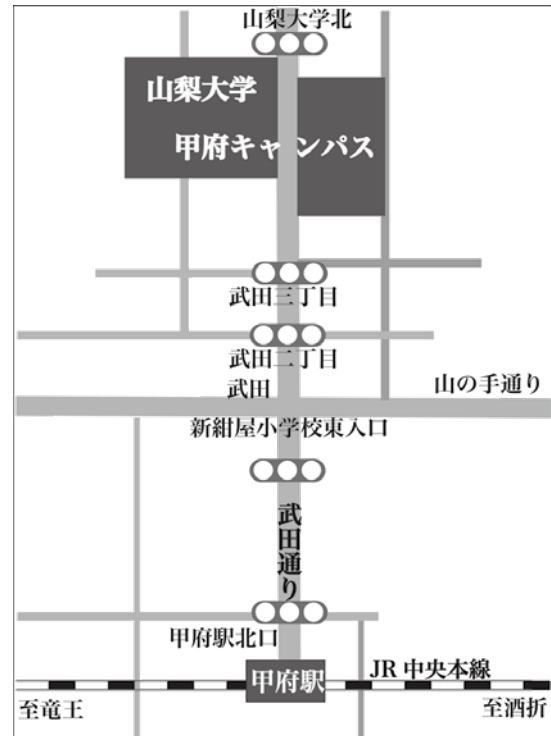
会 期：2024 年 6 月 22 日 (土)・23 日 (日)

愛 称：バックスの宴

実行委員会 委員長：藤原嘉文 (山梨大学)
事務局長：小島千か (山梨大学)
委員：池山洋子 (山梨大学)
大内邦靖 (山梨大学)
齊藤 武 (岡山大学)
新海 節 (藤女子大学)
豊田典子 (大阪人間科学大学)
中島涼子 (山梨大学)

会場への主なアクセス：JR 甲府駅北口より

- ・武田神社行きバス乗車「山梨大学」下車 5 分
- ・タクシー、ワンメーター
- ・徒歩約 15 分



2023 年度役員・委員等一覧

会 長：小西 潤子 副 会 長：藤原 嘉文、石原 慎司 事 務 局 長：杉江 淑子 財 務 局 長：寺内 大輔 理 事：宮本賢二郎 (事務局担当) 小川 有紀 (財務局担当) 吉田 秀文 (総務担当) 大竹 紀子 (総務担当) 監事：渡会 純一 橋本 智明 編集委員会： 委員長 小川 容子 副委員長 尾見 敦子 委員 稲木 真司 酒井 勇也 曾田 裕司 田中 宏明 田中 昌司 中畑 淳	助成コンサート委員会： 委員長 小川 有紀 副委員長 大竹 紀子 委員 小島 千か 長谷川正規 藤原 嘉文 吉田 秀文 選挙管理委員会： 委員長 牛渡 克之 委員 岡 ひろみ 佐藤 薫 著作権ワーキング： 代表 福本 康之 委員 近藤 晶子 酒井 勇也 高橋 豊 会員情報管理システム構築ワーキング： 代表 小野 亮祐 委員 小川 有紀 杉江 淑子 寺内 大輔 宮本賢二郎 渡会 純一	会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利 後藤 丹 参与：中村 隆夫 安田 香 参事：(HP) 近藤 晶子 (D室) 中村 公俊 (J-Stage) 長山 弘 (庶務) 似内裕美子 (庶務) 松井 萌 デザイン室長：奥 忍 スタッフ (D室) 湯浅 佳苗 (財務) 藤脇知寿子
--	--	--

編集後記